

安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関するパブリックコメントの結果について

○意見等の募集期間：平成28年2月12日（金）～平成28年3月4日（金）

○意見等の受付件数：20人 44件

（提出方法の内訳：持参8人、郵便7人、ファクシミリ1人、電子メール4人）

1. 意見等の概要及び市の考え方

(1) 「人口ビジョン 第3章 3. 将来の展開方針」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	ベッドタウンは積極的なまちづくりではないと思う。ベッドタウンでは消費は他の市町村に依存することになり、地域でお金が回らない。地元商店街などの地域経済停滞にも拍車をかける。出稼ぎの構造では、地域は本質的には潤わないことは、戦前戦後の炭鉱労働を狙った零細な地方自治体の現状が教示している。安中市で暮らし、働き、消費する構造が、自治体の存続には不可欠である。	本市は、群馬県の地域経済の中心である高崎市に隣接し、就労、商業、学校等の都市機能の多くを依存している現状があります。また、若者世代を中心に高崎市方面へ転出している状況がある中で、転出をくい止める手段の一つとして、定住促進の為に住環境整備は重要なものと考えております。安中市は、居住地として良好な環境条件に恵まれているという特色がありますので、近隣と比較しても安価な地価や、子育て環境の充実をPRし、良好な宅地や住宅供給により、若い世代の定住を促進していくことが望ましいと考えています。また通勤、通学の利便性向上や交通渋滞の緩和を図るために、鉄道駅にパークアンドライドを導入することなど、施策展開の方向性として盛り込んでおります。定住者が増えることにより、中長期的には地域経済の発展も見込まれるものと考えております。

(2) 「総合戦略 4 総合戦略の展開に向けて」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	”無関心”という単語を使ったことは評価できる。市役所の職員は安中市に誇りを持っているか。様々な団体が自由に活動できる姿勢の柔軟な姿勢を求める。	「無関心」の文言につきましては、審議の過程で修正を行う事になり、「…安中市に対する”気づき”や”意識づけ”を起こさせること…」と改めております。個人、

		市民団体を問わず、あらゆる活動については、各種規定等に反しない限り保障されるものと認識しております。
--	--	--

(3) 「総合戦略 展開方針1『産業を育て安心して働ける環境をつくる』」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	児童・生徒等への就業体験機会について、対象者の目的・状況・目標に応じた手法、計画を立てていただきたい。ただやるだけでは無意味。大人数で一律にやることは不可能。	学生の職業体験につきましては、学校、企業、ハローワーク、その他関係機関と協議を行い、実効性の高い方法を検討して参ります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・特許の街をつくる。裾野を広く様々な能力を持った人を発見する。ハローワーク安中との関わりを密にし、雇用の増加を目指す。 ・地産地消。農民のステップアップを図る。管理がされていない土地の管理を行った者が、土地の権利を取得できる制度を法制化する（平成開墾私有令）。 ・特許開発と商業の仲立ちとして、極めてクリエイティブな研究工場の誘致を行う。その結果、特殊な技術を持つ企業、高所得を実現する労働者が生まれる。 ・特許、発明が成功することにより、高度な新産業が創出される。 	<p>安中市発の新技术の開発や発明等は、地域産業を牽引するきっかけや地域ブランドの創出、関連する新産業の創出、雇用の増加という観点からも望ましいものと考えております。展開方針1「産業を育て安心して働ける環境をつくる」の中でも位置づけておりますとおり、新技术の開発、新産業の創出について、支援を行って参ります。また、地産地消の取り組みは、新鮮なものを地域で消費する醍醐味に加え、流通コストの縮減、地域経済の活性化等、地域において様々な効果、効用をもたらすことが期待できます。</p> <p>未利用私有地の権利の取得については、個人の権利が関わるものであり、国による法整備も必要なことから、この戦略の中の言及は控えます。（最先端技術を有する）企業の誘致につきましては、展開方針1「産業を育て安心して働ける環境をつくる」の中でも位置づけておりますが、関連企業の市内進出や、安定した雇用の創出を確保するためにも重要な施策と考えております。</p>
3	「企業を誘致し雇用を生み出す」は困難と思う。企業誘致に頼らない当市独自の雇用創出方策を検討すべき。	地方創生の大きな柱の一つである「しごとづくり」につきましては、企業誘致と併せて、地域資源を活かした産業の創出も重

<p>その理由は、他地域と比べ、企業進出の魅力が無い（市独自の誘致施策なし、工業適地不足、若者不足）ため、企業進出も期待できない。たとえ企業が進出しても、企業の都合で閉鎖になってしまうこともあり、安定雇用に繋がらない。よって、これまで活用されて来なかった潜在的な資源を活かした産業を創出することが必要であると考ええる。</p> <p>当市の潜在的な資源を活かした産業の例としては、森林資源の活用（木材ペレット、製材）、自然エネルギー（小水力、バイオマスエネルギー）、製糸産業（絹織物）などが考えられる。こうした当市の持つ資源を活かして中央の企業に頼らない産業を育成すべきと考える。これを実現するには、関係機関（碓氷製糸、森林組合など）は勿論のこと、広く市民に呼び掛けて、市当局と一緒に課題を解決していくような人材が確保できれば夢物語に終わらないと思う。なお、小水力発電の開発も検討すべき。</p>	<p>要な施策の一つと捉えております。地域活性化を進めるためには、担い手となる人材の発掘や育成も必要となりますので、人材の確保への取り組みに併せ、官民が協働して地域の課題解決を図って参りたいと考えております。小水力発電の開発については、開発の目的を明確にした上で、適地の選定等、研究、検討を行って参ります。</p>
--	---

(4) 「総合戦略 展開方針1『安中市に行きたい・住みたい人を増やす』」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>地方自治体の生き残りをかけて見出すべき安中の強みは、外にいる人間の視点なしでは開拓できない。総務省の制度にある地域おこし協力隊を予算化することで、当該総合戦略を具体的に進める事ができる。地域おこし協力隊の該当地域である条件不利地域に安中市全体が入らないのであれば、松井田地域のみを準過疎地域として地域指定できるよう、条例整備をすべきである。松井田町と旧安中市のまちづくりも全く別のものであり、準過疎と地域指定し、旧安中市のまちづくりと一線を画すべきである。</p>	<p>地域おこし協力隊員の地域要件につきましては、転入地について「3大都市圏外の全ての市町村…」となっておりますので、本市の場合、受け入れに際しての制約はないと認識しております。地域の活力を高めるための手段の一つとして、地域おこし協力隊の活用も検討すべく、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」施策2「安中市への定住・移住支援」について位置づけを行っております。準過疎地域は、過疎地域自立促進特別措置法（過疎法）に基づく過疎地域に準ずる地域指定と認識</p>

	<p>(地域おこし協力隊)</p> <p>全国各地の市町村では「地域おこし協力隊」を導入し、その地域の特色にあった「地域おこし」の提案を行い、実践している。地域おこし協力隊の任期が終わったあとも、定住するケースもたくさんできており、安中市でも導入を積極的に考えてもらいたい。例えば、安中の特産品の開発、6次産業化、休耕地対策、養蚕対策など。</p>	<p>しておりますが、過疎法のように法的に助成や振興策が位置づけられているものではなく、市が単独で条例整備を行ったとしても、国からの支援が保障されているものではないと認識しております。しかしながら、都道府県レベルでは「準過疎地域」を制度化している所もありますので、群馬県に対し、財政支援も含め、地域振興策の一つとしての提案を行って参りたいと考えております。</p>
2	<p>安中市は、日本全国の中でもまれに見る恵まれた観光資源を持っているが、各観光資源が点在しており大きな魅力に成り得ていない。点在する観光資源を出来る限り一つの場所に集め、テーマパーク化して地域住民の雇用、安中市の活性化、税収増に繋げるべきである。</p> <p>その為には市がデベロッパーとなり、広い場所に観光資源を集め、観光資源と市の特産品、農産物の大型直売所をコラボさせ、市による指導で全て運営し、民間企業の参入は市との賃料契約により参加させる。これを実現するにはプロの民間人の助力が必要となる。ノウハウを持った民間人と市が協力して成し遂げる事が重要となる。何を誘致して市全体をどんなテーマパークにするかの話し合いから始めたらどうか。</p>	<p>安中市は魅力ある観光資源に恵まれているものの、観光地が広域に点在しており、観光地としての相乗効果を発揮しきれていない面もあると思います。安中市を訪れる方が、市内相互の観光地間を散策しやすくするための施設の集約は必要と考えておりますが、自然景観や鉄道遺産、温泉等、集約できない観光資源もございますので、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」の中でも位置づけておりますとおり、「観光地域づくりプラットフォーム(安中版DMO)」を設立し、市全体として観光地間の相乗効果が生まれるよう総合的な観光推進体制を進めて参ります。</p>
3	<p>宿泊所だけでなく地域にお金が落ちることを第一に考えていただきたい。</p>	<p>安中版DMOの設立など、観光振興に対する取り組みを加速させる中で、観光産業全体が潤う仕組みを検討して参ります。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・広域観光連携を行う。中宿燈籠人形のような郷土伝統文化を伝承していく。 ・平成開墾私有令により、新たに開拓された土地に、プリンスホテルのコテージのようなスマートな公共住宅をつくる。 	<p>広域観光連携につきましては、関係機関との連携に加え、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」の中でも位置づけておりますとおり、「観光地域づくりプラットフォーム(安中版DMO)」を設立し、総合的な観光推進体制を構築して参り</p>

		<p>ます。郷土伝統芸能の伝承につきましては、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」の基本的方向の中で位置づけておりますとおり、子どもの頃から郷土文化に触れることで、誇れる郷土文化の発掘と再興に併せ、伝統文化の継承と安中市に誇りを持てる子どもたちが育つよう取り組みを進めて参ります。</p> <p>ご意見をいただきました未利用私有地を活用したスマート公営住宅の建設については、個人の権利が関わるものであり、国の法整備も必要なことから、安中市単体での対応は困難ですが、公営住宅に限らず、良質で魅力ある住環境の創出は必要なものと考えております。</p>
5	<p>①めがね橋と6号トンネルの間の空き地へ、アパート式の古いレールを10m位設置したらどうか。②碓氷鉄道施設(めがね橋、トンネル、丸山変電所)の当時の写真や説明文を展示する資料館を造ったらどうか(場所的には、1号トンネル左側の平地あたりかめがね橋駐車場の付近)。③廃校になっている松井田西中のグラウンドを駐車場にし、碓氷関所の見学や丸山変電所、碓氷川を見ながら散策できるコースを整備するのはどうか。併せての駐車場に、土産売店、食堂などを造るのはどうか。④磯部温泉の碓氷川沿いにサイクリングロードを作り、起点は磯部温泉とし、競技やガイド、タイムレースなどを行って見たらどうか。⑤秋間梅林を中心として、後閑城址公園や赤穂四十七士石像や満行寺、榛名神社、長源寺を巡るコースを作ったり、後閑城址公園の駐車場から本丸跡の階段を何分で上がれるかなど、イベントを実施するのはどうか。⑥磯部温泉街の活性化のために、商工会を</p>	<p>市内の観光振興につきましては、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」の中で位置づけさせていただきましたとおり、碓氷峠周辺観光施設、磯部温泉、秋間梅林、その他、市内観光地の整備や振興方策等、いただきましたご意見も参考に検討させていただきます。</p>

	<p>中心に食堂が出来る人探しに併せ、店舗作りや、空き店舗を活用した骨董や雑貨の店などを展開するのはどうか。⑦安中の市街地の商店の中には美味しいお菓子屋さんが多くあるので、安中の市街地を「お菓子の町」として売り出したらどうか。</p>	
<p>6</p>	<p>(東京、埼玉等の都心部からの気楽な観光客を呼び入れる)</p> <p>都心に時間を持て余す団塊世代は多く、また渋滞に巻き込まれずに家族で気楽に日帰り旅ができたらいいのに、と考える人たちも結構いる。安中榛名駅を利用した秋間梅林観光や、美しい景色の中のハイキングや登山、野菜を中心とした美味しくバラエティに富んだ昼食、農家のおばあさんたちが中心になって運営している農家レストランなどが出来ると良い連日の賑わいで遠くからも客を集めているとのことでした。</p> <p>また、市内や周辺にあるたくさんの温泉情報も発信したらいいと思う。移動手段として格安レンタカーの工夫でも出来たら良いと思う。</p> <p>新幹線利用の観光客を増やすために、JRとタイアップした取り組みを行うべきである(期間限定乗車券やファミリー用の割引乗車券の販売)。</p> <p>バスで富岡製糸場に団体で来た方でも、二度目は個人で周辺を自由に回りたいと思うのではないか。安中榛名駅と磯部駅を結ぶバスが、ある時期は梅林の方へ迂回するというのも一案だと思うし、いろいろなコースを設定して、とにかく人口の多い都市部からの人たちを呼び込む方法を考えなければならぬと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、地域にある様々なものが観光の要素につながっていくものと思います。温泉も含め観光情報につきましては、情報を検索している方が情報を受信しやすいよう、情報発信の方法やターゲットも検討する必要があると考えております。また、安中榛名駅は安中市の北の玄関口として位置づけており、JR東日本とのタイアップ、駅を拠点にした観光ルートの検討も取り組みたいと考えております。展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」の中でも位置づけておりますとおり、「観光地域づくりプラットフォーム(安中版DMO)」を設立する中で、安中市全体として総合的な観光推進体制を構築して参りますので、ご協力をお願い致します。</p>
<p>7</p>	<p>(秋間梅林の維持管理について)</p> <p>秋間梅林も高齢化のため維持管理が難し</p>	<p>以前にも安中市観光協会が中心となり「梅の木のオーナー制度」に取り組んだ経</p>

	<p>くなっており、手が入らず荒れてしまっている梅林がたくさんある。樹齢数十年にもなる梅の木は、これを荒れるに任せてしまうのは、勿体なくて仕方がない。観光客を集めるためにも、その所有者が管理できなくなっても、誰か他の人、例えば安中市街地住民の希望者や退職後のボランティア等が、希望により一人数本の木を年間通して世話をするという体制を取れないか、と思う。自らも梅林の世話をしているが、とても行き届かず、他に誰か手伝ってくれる人がいないかと思うが、そういう人を探す手立てもない状態である。安中市内でも指折りの景色の良いところだが、放っておけば、篠竹に覆われてしまい、視界さえ遮ってしまうことになる。観光客のためにも、太陽光パネルばかりにしてしまうのは惜しいところです。市側で、市の誇りでもある梅を守る仕事をやってもいい人と手のほしい人を結びつける知恵を、何とか出していただけたらと思う。</p>	<p>緯もありますが、高齢化と後継者不足で梅林の維持管理が困難な実情を踏まえ、再度関係団体と協議を行い、現役をリタイアされた方の活用や、ボランティア等が所有者に代わって梅の管理をできるような方策についても、検討いたします。</p>
8	<p>都市部からの人を呼び込む場合、車の免許を持っていない（車を持っていない）人にとっては、移動手段が少ないので、公共交通機関の整備が必要だと考える。また高齢化率の高い松井田方面にとっては高齢者支援にもつながると思う。</p>	<p>公共交通網の整備につきましては、必要な取り組みであると考えております。展開方針5「人口減少に対応した自立した地域をつくる」において位置づけておりますが、利便性の高い公共交通の確保に向け、検討を行って参ります。</p>
9	<p>(空き家対策) 若い世代、元気で活躍できるシルバー世代の定住者を増やすための施策として、今、どこの市町村においても問題となっている空き家をリフォームし、そこを低賃金で貸し出す。また農業に関心のある方に対しては、「空き家+農地」が一緒に借りることが出来るような事業を取り入れたらいいと思う。また、山や梅林等においても田畑と同</p>	<p>空き家対策につきましては、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」施策2「安中市への定住・移住支援」および展開方針5「人口減少に対応した自立した地域をつくる」施策1「市民の暮らしを守る住環境の整備」に位置づけております。空き家の実態把握を行い、利活用が可能な物件の情報や、休耕地の情報提供、空き家の改修、再利用に係る助成を検討して参り</p>

	様に「空き家+梅林等」を借りられる施策はどうか。特に秋間梅林は梅の世話をする農家が減っているのので、観光資源の再生強化につながると思う。	ます。
10	<p>(移住者、企業等の転入を募る)</p> <p>都会よりも地価が安いメリットを活かし、都心部からの移住や企業誘致を行うべきで、そのための受け入れ体制（例えば豪華な市営住宅を整備する等）することと地域の情報発信が必要である。東京圏への一極集中は好ましくなく、里山に住み鉄道の便（安中榛名駅を活用する）を活かす生活へ切り替えることなどは、社会的にもいみがあることのように思う。国の政策と合致させ、国から支援を勝ち取る事も必要ではないか。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、安中市への「ひと」「もの」の流れを生み出すため、適確に情報発信を行うとともに、都市部から人が移住しやすい環境づくりが必要であると考えております。国や県の事業助成等も活用し、魅力ある地域づくりに取り組んで参りたいと考えております。</p>

(5) 「総合戦略 展開方針3『結婚・出産・育児を応援する環境をつくる』」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚対策として、集団お見合いパーティーはどうか。 ・養子縁組の制度化。 	<p>結婚支援につきましては、展開方針3「結婚・出産・育児を応援する環境をつくる」施策1「結婚のきっかけづくり」の中で位置づけており、民間団体が実施する事業への助成等を検討して参ります。また養子縁組制度につきましては、法に基づき制度化されておりますが、子どもは家庭の中で愛情を受けて育つことが必要であり、個別案件を処理する上で（家庭の状況や子どもの福祉を考えた上で）、養子縁組も選択肢の一つになり得ますので、案件が生じた際は関係機関と協議の上、適切な対応を行って参ります。</p>

(6) 「総合戦略 展開方針4『子どもの成長を地域で見守る環境をつくる』」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>(「子供」という表記について)</p> <p>「子供」の文言には「子供は大人にともなうもの」という封建的思想が残されている。歴史的にも「子ども」や「こども」という表記に変わってきている。子どもは主体的存在であり、個人として尊重されるという原則に則った表記にしてほしい。</p> <p>(施策について)</p> <p>全体的に、子どもを就学前の子どもに対する施策に終始しているように思う。現在、安中市内に20人もの不登校児、多くの保健室登校の子どもたちがいることを考えると、教育委員会との連携、地域での「町の先生」を活用した放課後教室など、様々な形で子どもを地域で育てる枠組みが必要だと考える。他地域ではすでに様々な工夫を凝らした地域のおじさんおばさんに育てられる環境が整えられている。ぜひ、教育委員会主導の施策を検討してほしい。</p>	<p>(「子供」という表記について)</p> <p>ご意見のとおり修正致します。</p> <p>【修正案】</p> <p>人口ビジョン、総合戦略の全てにつき「子供」を「子ども」と修正します。</p> <p>(施策について)</p> <p>地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりにつきましては、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」の基本的方向性の中で位置づけさせていただきした。具体的な施策について個別に検討を行って参ります。</p>
2	<p>(子どもから高齢者までが交流できる場づくり)</p> <p>上毛天然ガス工業の跡地を利用して、子どもが雨の日でも気軽に遊びに行くことができ、子どもから高齢者まで年代を問わず交流できる拠点としたい。広い芝生の広場、ウォーキングを楽しめるコース、イベント広場、遊具や水遊びのできる広場、お茶などを飲みながらみんなが交流できるスペース、図書コーナー、調理コーナー、事務スペース、会議室等を盛り込み、運営はNPOや市民団体等で運営できれば理想だと思う。市内外にイベントなどの情報発信を年間通じ行い、外からの利用者も受け入れる。</p>	<p>子どもからお年寄りまでの多世代が交流できる施設の整備につきましては、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」施策1「子育てを楽しむ多様な交流促進」の中でも位置づけさせていただきましたとおり、子育て支援拠点や子どもたちが安心して遊べる事が出来る施設の整備を検討して参ります。</p>

	<p>駐車場もある程度は必要。高崎のケルナー広場（旧カップピア跡地利用）の取り組みが良い例となると思う。</p>	
3	<p>(子育て支援の拠点)</p> <p>子育て支援センターは増えているが、子育て世代が自由に集まれて、交流が持てる場所はない。児童館もないため、空き家や店舗を利用するなど、子育て世代が集まれる場所を確保して欲しい。理想としては、学区に一つひとつ、無料で集まれて、気軽に交流できる場所が欲しい。また、空き家などを活用し、市民の力を活用できるような場も考えて欲しい。(参考:桐生市には町の中心部にキッズバレイというNPOが市の支援を受けて子育てスペース、お茶を飲むスペースが設けられている。そこで、ママたち自身が講座を立ち上げて学習する機会を作っている。)</p>	<p>子育て世代の交流の場の提供については、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」でも位置づけておりますとおり、子どもたちの多様な活動の場の整備を検討して参ります。併せて地域コミュニティの拠点整備も検討を行って参ります。</p>
4	<p>(ファミリーサポートについて)</p> <p>ひとり親家庭の報酬額の補てんを市の制度で実施し負担額を減らして欲しい。既に他の自治体では、県の補助と併せてひとり親家庭の負担は無償となっており、予算も10万円もあれば出来る。報酬額を気にする余地、必要なサポートを受けられないひとり親は多く、結果的に子どもへの負担が大きくなっている。子育て世代の貧困も深刻であり、子ども食堂を作りたいが、民と官で協力して行えると良いと思う。</p>	<p>子育てにかかる経済的負担の軽減につきましては、個々の事業の対応の中で検討を行って参ります。子どもの貧困等の問題も含め、子育てについては、経済的な負担の軽減を求める意見も多く、意見に配慮した施策展開に努めて参ります。</p>
5	<p>(病児保育の実施)</p> <p>女性が働きやすい環境の整備のひとつとして、病気の子どもを預かる病児保育を行ってくれる場を作ってもらえるとありがたい。夫婦共働きで特に子どもの世話をしてくれる家族のいない場合、子どもが病気にかかる、両親のどちらかが仕事を休まな</p>	<p>ご意見のとおり、子育てに対する負担軽減と女性の社会進出を促す上で保育の充実は重要なものと考えております。展開方針4「子ども成長を地域で見守る環境をつくる」施策3「子どもの成長をともに支える保育環境の整備」で位置づけを行っておりますとおり、必要な人員の確保等、保育サ</p>

	<p>ければならない。比較的、女性が仕事を休むことが多いので、女性がより働きやすくする為の施策として実現できれば必ずニーズはあると思う。</p>	<p>ービスの充実に向け取り組みを進めて参ります。</p>
<p>6</p>	<p>産官学連携により地域保育課題の解決を図る。～低年齢児保育の充実と保育士確保に向けて～</p> <p>安中市において待機児童はゼロということになっているが、市内原市地区などの人口増加地域において一部の保育園は恒常的に定員超過状態にあり、必ずしも市民の子育てニーズに応えているとは言いがたい。特に育児休業明けの職場復帰を速やかに行うためには低年齢児、特に0、1歳児の受け入れ枠の拡大は女性の職場復帰を円滑に行うためには重要な要素である。また一方で、保育所において低年齢児を受け入れるための保育士の確保が大変困難な状況にある。これは近隣の市町村、特に高崎市等の保育士確保の行政サービスに格差があるために、保育士が都市部に流失しているという現状がある。</p> <p>以上の理由から、安中市の子育て支援対策を包括的に実施する必要があるが、安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に産学連携を促すような施策が必要と考える。具体的には、県内にある福祉系大学と安中市と、市内保育所等が連携をした共同研究を行い、人口減少社会の実態にあった保育所における問題解決と、保育士を目指す学生に対する開かれた子育て環境づくりを実現するような計画にしてもらいたい。特に保育士が不足する中で、産官学が連携した職場づくり(学生インターンシップ等)は、学生の保育現場における問題解決能力の育成と、保育所と本人のマッチングに繋</p>	<p>保育を担う人材の確保は、女性の社会進出を促す上でも重要かつ不可欠なものと考えております。ご指摘いただきましたとおり保育所、行政、県内の大学等との連携について展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」施策3「子どもの成長をともに支える保育環境の整備」の項へ、産官学連携体制の構築についての記述を追加させていただきます。その他、いただきました意見も参考に施策の検討を進めて参ります。</p> <p>【修正案】(「展開方針4」「施策3」の項に下記文章を追加する)</p> <p>「保育の担い手である保育士の人材確保と保育に携わる人材育成、スキルアップのため、保育分野における産官学の連携を進めて参ります。」</p>

	<p>げることによって効果的な保育士の確保に繋がるものであると考えている。産官学連携体制の構築を総合戦略の中に加筆していただくことにより、地元で実情にあった効果的な保育政策運営が実現するものとする。これにより、保育士の県外流出を防ぐことが出来るとともに、安中市人口増加地域における低年齢児の受け入れ拡大に繋げることができ、安中市の子育て支援の充実が実現する。</p>	
--	---	--

(7) 「総合戦略 展開方針5『人口減少に対応した自立した地域をつくる』」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のダイヤの見直し。(市内バスについて) 1時間に1本で良いから均等間隔で運行してほしい。 ・安心感のある防災対策をお願いしたい。 	<p>公共交通の充実、防災対策については、展開の方針5「人口減少に対応した自立した地域をつくる」の基本的方向の中で位置づけられております。</p> <p>公共交通について：市民の足のみならず、安中市を訪れる方の移動手段の確保という観点からも重要なものと考えております。乗合バス、乗合タクシーにつきましては、鉄道ダイヤに併せたバスのダイヤ改正に加え、路線の見直し、バス以外の手段での輸送の確保等につきまして、継続して検討を行って参ります。</p> <p>防災対策について：災害時に地域力を発揮できるよう地域コミュニティの形成や、災害状況に応じた自助、共助、公助の連携は重要なものと考えております。平時からの対策と、防災に対する意識の高揚を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めて参ります。</p>
2	<p>(大学との連携)</p> <p>行政の取り組み、あるいはNPOやボランティア団体の活動に若い世代が入り、一</p>	<p>ご意見のとおり、地域課題が山積する中で、若者の意見を取り込んだ施策展開が必要だと考えております。展開方針5「人口</p>

	<p>緒に取り組むことにより、若い世代の考えやアイデア等を盛り込まれ、今までと違った層へのアピールができるのではないかと考える。安中市は大学がないため、今までは大学連携を行うことはなかったが、行政が積極的に県内大学に対し、まちづくりに携わる情報を公開し、学生が個人、サークル、ゼミ等で参加できるようにする必要があると思う。</p>	<p>減少に対応した自立した地域をつくる」の基本的方向の中で位置づけをさせていただきましたとおり、若者や大学等との連携を進めて参ります。</p>
3	<p>市民団体が相談できる行政側の窓口が必要である。指標について、それぞれの団体が実際に活動できているかが重要で、団体等がより活動しやすい情報を行政側も積極的に提供することも必要。官民それぞれのできることを持ち合わせ、一緒に考える事も必要だと思う。</p>	<p>市民団体の相談につきましては、市の組織の中に、NPOやボランティア、地域づくり団体等の市民団体の支援に係る専門の部署を設置して参ります。ご意見のとおり、官民で意見交換を行い、相互の役割分担に応じた取り組みを実施していくことは必要なことと考えております。</p>
4	<p>地域コミュニティの拠点整備の目標値を「1」とし、整備に具体的道筋をつけていただければ、NPO・市民活動する側にとっても大きな支えとなる。</p>	<p>ご意見のとおり修正いたします。 【修正案】 展開方針5 施策2「市民の力によるコミュニティの強化」の指標に「地域コミュニティの拠点整備箇所数」を追加し、「目標値（平成31年度）1箇所以上」を追加します。</p>

(8)「総合戦略 その他の意見」について

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>(観光振興について) 前橋市のるなばあく、伊勢崎市の華蔵寺公園などのように子どもと親と一緒に楽しめる、安価で楽しい場所をつくる。磯部温泉や秋間梅林のPR、TVや映画の撮影場所の提供を提供する。</p>	<p>ご意見のとおり、親子共々、さまざまな活動ができる場の整備は必要であると考えており、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」施策1「子育てを楽しむ多様な交流の促進」の中で位置づけております。また観光PRにつきましては、展開方針2「安中市に行きたい・住みたい人を増やす」で位置づけさせていただきましたとおり、取り組みを進め、TVや映画の撮影スポットとしてフィルムコミッショ</p>

		ンの立ち上げを行って参ります。
2	<p>(「しごと」についての取り組み)</p> <p>・インキュベーションオフィスの設立と運用</p> <p>市内で空いているテナントを活用し、安価な賃料で物件を安く提供する。</p> <p>行政と民間事業者との話し合い、情報交換の場所を確保し、定期的（月一回、週一回など）に会議を行い、民間から意見を聴取し実現を目指す。安中市内で起業家を育成する。</p> <p>・派遣会社の設立と運営</p> <p>福祉事業所（介護施設、障害者施設等）では、国で定められた人員基準があり、看護師（介護福祉士、保育士、PT、OT、柔道整復師）など資格を持った人が必要ですが、人材が確保できず、常に人材不足が発生している。派遣会社を設立して、働きたい主婦や資格を持った方に登録してもらい、必要人材の確保し、各施設の適正人員を確保する。</p>	<p>新規の起業家を増やし、働く場所を確保することは重要であると考えております。</p> <p>また、空き家や空き店舗等を有効活用することに併せ、起業支援への取り組みとして起業セミナー等を実施し、起業しやすい環境づくりを進めて参ります。生産年齢人口の減少が予測されるなかで、福祉系の事業所のみならず各分野で人材不足が生じることが予想されますので、ハローワーク等と連携して、人材確保の仕組みづくりを検討して参ります。</p>
3	<p>(転入者を増やす取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農産業希望の人に対する低賃金の貸家紹介 2. 転入者に対する転入支援金、子育て支援金 3. 新卒高校生への転入、就職支援（2年位をめどに） 4. 観光資源の見直し強化 5. 女性の働く場の増大 	<p>移住者、転入者を増やす取り組みとして、総合戦略に盛り込んだ各施策を確実にを行い、人口増への好循環が導き出されるよう、取り組んで参ります。</p>
4	<p>(私立学校の誘致)</p> <p>中学校卒業後に安中市内で進学する高校が少なく、高崎市などの他市町村へ通学する子供が多い。他市町村に通学する場合、交通費の負担が大きい事や、卒業後に他市町村でそのまま就職してしまう</p>	<p>少子化が進む中で新たに学校を設置することは、ハードルが高い取り組みと思われませんが、空き家や整理統合され使われなくなった公共施設等を活動の場として提供していくことは、資産の有効活用の観点からも検討できます。また、市内の高校との連</p>

	<p>場合が多いと思われる。可能であれば、安中市内に私立学校が出来れば市内だけではなく、他市町村からも通学する生徒が増えると思う。</p>	<p>携により、他地域にはない取り組みを実施できれば望ましいと考えております。また、安中市から巣立った学生、生徒が将来安中市へ回帰してくるまちづくりを実施するとともに、安中市の魅力の発信に努めて参ります。</p>
5	<p>目標値は現実的であり、十分な施策を出し切れれば遂行可能である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。目標の達成に向け、施策の推進に取り組んで参ります。</p>
6	<p>(地域活性化への取り組み)安中市で働き、結婚して、安中市内に住居を持ち、子育てをする流れをつくる</p> <p>結婚をしていない人対象の出会いの場を提供する。(婚活パーティーなど)。居酒屋やレストランを駅前のビルテナントに入れ、駅前の活性化する。</p>	<p>ご意見いただきました婚活支援につきましては、展開方針3「結婚・出産・育児を応援する環境をつくる」でも位置づけさせていただいております。駅前の振興等につきましては、まちの賑わいを取り戻すための方策の一つとして、まちづくりの観点から、研究、検討を行って参ります。</p>
7	<p>安中市民の意見・視点を吸い上げるところからスタートしたものと理解している。現在の安中市の動きに興味を持っていてくれる方は市外・県外にも多くいるようなので、今後はそういった方々の見解も聞きたい。今は外から安中市を見る視点が非常に重要であり、パブリックコメントを提出できる人を限定すべきではない。</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、安中市パブリックコメント手続実施要綱(安中市告示第47号)で規定されておりますとおり、市の基本的な制度や、基本的な政策を定める計画、条例、市民等に義務を課す制度等について、意見を求めるもので、その対象者として第一義的には、市が策定する基本政策や計画、条例等の影響が及ぶ市民、本市に関係のある方の意見聴取を想定しております。しかしながら、本市に利害関係のある方であれば、市内外を問わず、どなたでも意見を提出していただくことは可能となっており、市外の方の意見提案を排除するのではございませんのでご理解いただきますようお願い致します。</p>
8	<p>総合戦略の策定過程を市民に公開し、市民参加を促すべき。市民の興味・意識が得られ反響に繋がると思う。</p>	<p>準備が調った段階で、ホームページで公開を行って参ります。</p>
9	<p>・安中市が活気を取り戻すためには、人口減少に歯止めをかける事が必要。介護施設</p>	<p>介護、高齢者対策について、具体的なご意見をいただきありがとうございます。高</p>

<p>においては、住所地特例により、市外からの移住者について、移住前の住所地介護保険が利用できる。安中市においては、市外からの施設入居者の受け入れを積極的に行うことで市内の介護施設は、市外からの資金で仕事をさせていただき事が出来るようになる。市の福祉財政にも負担を与えません。(しごとの創生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安中市民が介護を必要になった場合は、在宅での生活を推進する。特別養護老人ホーム等の増設は資金がかかるため、一人暮らしの方の家に施設入所希望者を受け入れ、シェアハウスとして共同生活をしてもらう。(財政の負担軽減) 空き家をシェアハウスとして利用することも推進する。(空き家対策) ・高齢者はトラブルのもとになると考えられ、アパートへの入居が困難な状況だが、地域の介護事業者がサポートすることで、高齢者が住めるまち安中市をアピールし、シェアハウスも住所地特例を適用できるようになれば、さらに居住者も増えることになる。シェアハウスは建物に費用がかからないため、共同生活をした場合の生活費も少なくて済むようになります。通常の施設入所であれば、月10～15万円かかるところを、4～5人で住んだ場合、5～7万円程度で生活できる試算となる。(福祉のまち創生) ・生活保護を受給している方も施設での生活費と比べれば、半減できる計算です。(生活保護費の削減) ・シェアハウスでの訪問介護は夜間も巡回することを条件として、新規事業者に優先的に仕事を依頼する。訪問介護事業所は3人いれば開業でき、開業時に4～5人の利 	<p>齢化の進展に伴い、介護現場の人材確保は重要なものと考えております。併せて、高齢者の増加による財政負担の増加が必至の中、安定的に制度運営を行う必要があります。空き家を活用したシェアハウス、介護職員の育成、スキルアップにつつまして、いただきました意見も参考に施策の検討を行って参りたいと考えております。</p>
--	--

	<p>用者がいる事で経営基盤も成り立ちます。 (しごとの創生)</p> <p>・また新規事業者については、安中市内の事業所に3年以上継続して働いていた者で、事業所からの推薦を必要とします。既存の事業者も社員が退職して事業者になることが計画されていることで、負担なく応援できます。これにより、安中市で介護職に就いた場合、行政の支援を受けて、独立開業できる事になり、職員の意欲向上に繋がります。新卒の介護職員は安中市で働くことによって、3年後に事業主となれる道が拓けるため、人材も集まってきます。(ひとの創生)</p> <p>*安中市がシェアハウスを推進することで空き家対策になります。</p> <p>*シェアハウスが介護難民を救います。</p> <p>*介護の必要な高齢者が安中市に集まることで、意欲ある介護者も育ちます。</p>	
1 0	<p>安中市と松井田町が合併して10年。1987年～1995年にかけて安中市では総額51億円の横領事件があり、「100年ローン」の中、松井田町は7割の人の反対がありながら、町議の一方的な決議により、安中市と合併になってしまった。安中市の元職員のせいで、松井田町民は背負わなくても良いものを背負ってしまった。問題を解決してから、コミュニティの問題を考える必要があるのではないか。</p>	<p>本戦略とは直接関連のあるご意見ではございませんが、安中市元職員による土地開発公社事件の債務につきましては、安中市土地開発公社と群馬銀行との間で締結された和解条項に基づくものであり、市民が債務を追うものではありません。なお、人口減少に伴い地域での行事、活動の衰退が見込まれる中で、地域住民同士の協働やコミュニティの形成は重要なものと捉えております。</p>
1 1	<p>安中市の特色あるまちづくりを考えたとき、イメージとしてわかりやすさが必要ではないだろうか。市民がどういう町にしていきたいのか、意識や目的をまとめていくことが必要であり、ワークショップや座談会が、地域に一つ作れないだろうか。自分自身の経験から、「安中市を日本一の介護の</p>	<p>少子高齢化、人口構造と社会構造の変化に伴い、様々な地域課題が生じております。地域の課題解決については、行政のみならず、市民、自治会等地域の団体、NPO、ボランティア団体、地域づくり団体等、様々な方との協働、協力の下で課題に取り組むことが必要となります。展開方針5「人口</p>

	町」にできないか。そういう特色を打ち出すことで命を大事にしたまちづくりを打ち出せないかと思う。子どもたちと高齢者とのふれあいにとどまらない子ども自身が生きることに向き合う学習の取り組みなど、質の良い介護者の育成にもつなげられないかと思う。介護の町なら、介護者の雇用も生まれ、子育て世代も引き込める。そういったことを、地域で話し合う機会がないだろうか。そこにしっかりファシリテーターを入れていけば話し合いをまとめていけるのではないだろうか。	減少に対応した地域をつくる」で基本的方向を示させていただきましたが、市民がまちづくりについて考えていることについて、意見交換の機会は必要と考えております。ご意見のとおり、多様な意見をとりまとめるために地域の事情を熟知したファシリテーターの存在も欠かせないと考えております。
1 2	地域のNPOが市の施設を利用する際、制限が付くのが理解できない。誰がどのように決定を下しているのか。考えを柔らかくすることから始めてください。市民は見えています。	市有施設の使用につきましては、各施設の規定に基づき処理しております。
1 3	全ては、現在の考え方を改めることから始めないと前に進まない。県内において、安中市は様々な分野が遅れている。このままでは人口流出は止められない。危機感を持つべきである。安中で楽しく過ごしたい故にこのような意見を書いた。頑張りましょう。	ご意見のとおり、人口減少につきまして市職員も含め、市民も危機感を持つことが必要であると考えております。人口減少対策は、各施策の展開に合わせて横断的に取り組みを進めて参ります。
1 4	(古民家再生) 古民家を通じ、地域おこしの活動に取り組む新潟県十日町市竹所在住の建築デザイナー、カールベクス氏の講演を聞き、安中にも埋もれた宝物がまだまだあるのだと感じ、うれしく思った。日本の古い建築物の良さを活かした建物は、とても魅力があり、古民家を再生し、そこを地場産の野菜やお米、麦等を利用したメニューを作り、農カフェなどが出来れば素敵だし、古民家を再生した家をネットワーク化し、観光メニューの中に取り入れれば、安中の新たな	財産を有効活用する手段の一つとして、古民家再生は魅力的なものと思います。定住、移住対策と合わせ、再生が可能な空き家の古民家などの活用について、施策の検討を行って参りたいと考えております。

	<p>魅力発信につながると思う。人が入ってくれば、交流人口は増え、最終的には定住人口に結びつくことにつながると思う。観光も安中の魅力づくりをしなくてはならないと思う。</p>	
1 5	<p>(みんなが集まれる場所づくり)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雨の日、日曜日でも気軽に訪れることができる場所作り 2. 子どもからお年寄りまでが使用できるもの 3. 情報は発信が出来る場 4. 建物だけでなく周りの空間も利用して、四季を通じた行事やその他のイベントの開催 5. 市内のみならず、市外へ発信し、安中の観光資源の一つになりうる施設 	<p>子どもからお年寄りまでの多世代が交流できる施設の整備につきましては、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」施策1「子育てを楽しむ多様な交流促進」の中でも位置づけさせていただきましたとおり、子育て支援拠点や子どもたちが安心して遊べる事が出来る施設の整備を検討して参ります。また、様々な情報発信の場としての位置づけも検討できれば望ましいと考えております。</p>
1 6	<p>(子どもと高齢者のバランス)</p> <p>子どもと高齢者のバランスが良いことがまちづくりにつながる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもは色々な知識を高齢者から学ぶ(若い親にはないものを与えてもらう) 2. 高齢者はいろいろなものを伝承する事の充実感(生きがいにつながる) 3. 多世代の交流が出来る取り組みが必要 	<p>子どもと高齢者の世代間交流は、高齢者の能力の活用に併せ、子どもの社会性や心の発達などに良い効果があるといわれております。多世代の交流につきましては、展開方針4「子どもの成長を地域で見守る環境をつくる」施策1「子育てを楽しむ多様な交流促進」の中で位置づけさせていただきましたとおり、いただきましたご意見も参考に施策の検討を行って参ります。</p>
1 7	<p>(コミュニティソーシャルワーカーの配置)</p> <p>コミュニティソーシャルワーカーは、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組み、地域における見守り、発見、つなぎ機能の強化を図るものです。近年の要援護者は、複数課題を抱えている場合が多く、きめ細やかな対応が出来るCSW(コミュニティソーシャルワーカー)の配置が必要と考えます(大阪府豊中市の取り組みを参考にしてください)。</p>	<p>少子高齢化と人口減少社会を迎え、福祉が抱える問題の多様化や、それに対応する地域福祉の担い手不足が懸念されております。ご提案いただきましたコミュニティソーシャルワーカーは、地域福祉のコーディネーター役として活躍も期待できますので、ご意見も参考に検討して参ります。</p>

18	<ul style="list-style-type: none"> ・震災から5年過ぎ、その時に一番困ったのは電気である。電気を安中市全体でまかなえるように、電気を貯めておけるようにしてはどうか。 ・震災から5年経ちますが、除染など具体的な行動が見えられない。本気度が知りたい。 	<p>電力の地産地消等、当該案件に対する対応を検討する際に参考にさせていただきます。その他、震災にかかる個別案件につきましては、当該案件に対する対応の中で、対処しているものと認識しております。</p>
----	--	--

2. 意見等に基づき、案を修正したもの

変更前	変更後						
【人口ビジョン、総合戦略の全体についての表記】…「子供」。	【人口ビジョン、総合戦略の全体についての表記】…「子ども」と修正します。						
【総合戦略】展開方針4 施策3の項に文章を追加します。	<p>【総合戦略】展開方針4 施策3の項に文章を追加します。</p> <p>「保育の担い手である保育士の人材確保と保育に携わる人材育成、スキルアップのため、保育分野における産官学の連携を進めて参ります。」</p>						
【総合戦略】展開方針5 施策2「市民の力によるコミュニティの強化」の指標を追加します。	<p>【総合戦略】展開方針5 施策2「市民の力によるコミュニティの強化」に指標を追加します。</p> <table border="1" data-bbox="815 1285 1398 1541"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>基準値</th> <th>目標値（平成31年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域コミュニティ拠点整備箇所数</td> <td>0箇所</td> <td>1箇所以上を目指す</td> </tr> </tbody> </table>	指標	基準値	目標値（平成31年度）	地域コミュニティ拠点整備箇所数	0箇所	1箇所以上を目指す
指標	基準値	目標値（平成31年度）					
地域コミュニティ拠点整備箇所数	0箇所	1箇所以上を目指す					

【問合せ】

安中市役所総務部企画課企画調整係

電話：382-1111（内線1022）

Eメール：kikaku@city.annaka.gunma.jp